機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	機能要件	実装区分	適合基準日
0150086	2.3.1.	1	交渉経過管理	滞納者に対する交渉経過項目を個別・一括で管理（設定・保持・修正）できること。削除の際は、誤って消すことに対する防止措置が取られていること。 任意の交渉経過については、強調して表示できること。 交渉経過の見出し、本文を作成、編集できること。作成した見出し、本文、交渉経過項目の組み合わせで検索し、抽出できること。 ＣＳＶでの一括登録ができること。 ＜交渉経過項目＞ ・記録コード ・日付 ・場所 ・時刻 ・内容 ・見出し ・折衝相手 ・対応者 ・約束情報 ・交渉方法（臨戸／来庁／電話応対／催告／文書催告／送金あり／調査／整理方針等） 上記のうち、対応者は、ログインしている担当者コードがデフォルトで設定されること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150087	2.3.1.	2		過去の交渉経過を複製できること。	標準オプション機能	
0150088	2.3.1.	2		交渉経過の削除は、権限によって削除制御がかけられること。	標準オプション機能	
0150367	2.3.1.	2		一括入力した交渉記録について、一括で修正できること。	標準オプション機能	
0150089	2.3.2.	1		定型語句を登録することにより、引用することができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150090	2.3.2.	1		滞納者抽出結果を基に交渉経過を個別又は一括で出力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150091	2.3.3.			世帯員及び２．２.12.「関連者登録管理」で登録した関連者（別世帯の親族、同一世帯の非親族（同居人等））にも同様の交渉経過内容の登録を選択できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150092	2.3.4.			期間を指定して、交渉経過を出力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150093	2.3.5.	1	交渉経過自動入力	以下の場合、交渉経過に自動的に履歴として追加されること。それぞれ自動で追加されるかは、システム上で設定あるいは都度任意で選択できること。 納付に限らない約束（来庁、訪問等）も管理できること。 ＜自動登録項目＞ ・納付書出力（個別・一括） ・照会文書出力（個別・一括） ・催告書出力（個別・一括） ・分割納付登録時、分割納付誓約書出力時、分割納付取消・解除 ・処分帳票出力時（差押、交付要求、繰上徴収等） ・処分猶予帳票出力時（滞納処分の停止、猶予、延滞金減免） ・財産調査結果入力時 ・処分、処分猶予の解除時 ・不納欠損処理時	実装必須機能	令和８年４月１日
0150094	2.3.5.	2		収納管理システムで督促を出力した場合、滞納管理システムの交渉経過に自動で記録されること。 ＜自動登録項目＞ ・督促状出力（個別・一括）	標準オプション機能	
0150095	2.3.5.	2		・仮消込登録	標準オプション機能	
0150096	2.3.5.	2		・担当者変更	標準オプション機能	
0150097	2.3.5.	2		・滞納管理上の返戻・公示送達時	標準オプション機能	
0150098	2.3.5.	2		・分割納付不履行時	標準オプション機能	
0150099	2.3.5.	2		・滞納者抽出時	標準オプション機能	
0150100	2.3.5.	2		・時効更新、完成年月日の手動修正時	標準オプション機能	
0150101	2.3.5.	2		・調定・収納履歴の修正・削除時	標準オプション機能	
0150102	2.3.5.	2		・納税通知書出力・返戻時	標準オプション機能	